

「ザクロの花(3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

受粉が終わって、あとは結果(実になること)を待つだけの状態にもかかわらず、ザクロは花ごと落花しているものが多い。それを拾って縦に裁断、中を観察してみることにした。



(2ページ目に拡大写真)

これが受粉後と思われるザクロの花の断面である。写真に撮ったのではなく、切った断面をスキャナーに置いて、読み取ったものである。この方法だと確実にピントが合い、ブレも起きない。おびただしい数の雄しべが見られるが、他の植物と同じように、雌しべは一本だけだった。



下部の雌しべと、その下にある果実になる部分の拡大である。匂いはかすかにザクロの香りがして、わずかに甘酸っぱい味も感じられた。



(田中 健二画)

この花の下部が膨らんで、ザクロの実になるのだろう。花の名残は、果実の下部に見られる。



ザクロの木はイチョウ並木のはずれにある。今の時期はアジサイも満開で、子どもたちと観察しながら散歩するには一番良い季節だ。しかし、4年理科は単元が多く、本当に忙しい。ゆっくり自然を見る時間がとれないのが、とても残念だ。



